

第2分科会《会場：けやきフォーラム A,B》

セーフコミュニティ（SC）が『はぐくむ』安全・安心の創造

趣旨

『はぐくむ』には、SC活動の安全や安心のこころやかたち（創造力）、データへの関心など科学の眼や思考法、住んでいるまちへの関心、内外の安全情報への関心など、また、子どもの心、防犯（「家と心」2つの鍵かけ）のこころなど、地域が主役となってコミュニティの安全・安心増進のための叡智や、市民生活の質の向上のための日々の市民生活に資する「作法」やこころのあり方が含まれます。

分科会では、防犯の「犯」の姿形の変化に応じた「防」の姿形（例えば「鍵と指紋」を守るこころ、交通安全の心（追突事故予防、ヘルメット、反射材）、犯罪予防運動、防犯パトロール活動等、地域の絆、メーカーの力、作業療法士の技など様々な「はぐくむ」安全安心のこころやすがたについて、議論を深めます。

座 長 村瀬恵子

副座長 倉持隆雄 金子理恵子

1【特別講演】「どうはぐくむ「鍵と指紋」を守るこころ」

～レンズで盗まれるあなたの「鍵と指紋」新情勢

富田 俊彦氏 【防犯設備士協会 特別顧問】

2「どうはぐくむ『ヘルメット・反射材』と交通安全運動」

金子 理恵子氏 【交通安全対策委員会 委員長】

3「どうはぐくむ犯罪防止運動（最近の犯罪情勢と対策）」

安部 一夫氏 【犯罪の防止対策委員会（秩父警察署生活安全課長）】

4「どうはぐくむ防犯パトロール・鍵かけ運動（不審者対策を含む）」

富田 陽子氏 【犯罪の防止対策委員会 副委員長】

5「どうはぐくむ地域の絆、安全安心のこころ」

～ 厚木市における不審者から子供を守る取り組み

倉持 隆雄氏 【厚木市セーフコミュニティくらし安全課SC指導員】

6【話題提供】「地域、防災、災害支援に対して、メーカーが発揮する

『つながる、はぐくむ、とどける』ちから」

櫛間 香奈氏 【ハッソー株式会社 マーケティング部マネージャー】

7【話題提供】

「どうはぐくむ高齢者の健康と安全・安心～作業療法士としての創意工夫～」

松岡 公平氏

【らいおんハート整形外科リハビリクリニック統括部長、作業療法士】

どうはぐくむ「鍵と指紋」を守るころ



富田 俊彦

公益社団法人日本防犯設備協会 特別講師
日本市民安全学会 顧問

1. 便利さの裏に潜む怖さ

「鍵は防犯の要」と言われますが、錠前も進化し、ノンタッチキー、カードキーをはじめ、指紋、静脈等のバイオメトリックスを利用した電気錠システムが普及しています。

人の目では見えなかったものが、カメラの高解像度化によって鮮明画像で瞬時に見られる様に便利になりましたが、一方で使い易さ、格好良さを優先するあまり、安全性が疎かになって、映りすぎのリスクを抱え、新たな手口犯罪の誘発やプライバシーの侵害など国民生活に影響を及ぼす危険性があります。

2. 見えすぎる怖さ

錠前も、スマートフォンを使用して遠隔操作で施解錠する IoT の時代を迎えています。指紋は万人不動、終生不変ですが、スマートフォンで撮影したピース画像から指紋を盗み取って、偽指を作り、偽造した指の指紋から、本人になりすましてパソコン等に侵入することが可能になっています。また、インターネットで合鍵を複製して不法侵入する事件、電子キーの制御設定を変更して不正解錠し、自動車を多量に窃取する事件など、新たな手口事件が次々と発生しています。

3. 見られている怖さ

「顔認証」は、ここ数年で急速に普及し、スマホのロック解除、業務用パソコンにログインする際の本人確認、スーパー、書店、ドラッグストアなどの万引き防止、空港ビルやスタジアムでの不審者の検索やテロ対策、テーマパークの入場チェック、会員制飲食店の入店チェックなど広く使用されています。日常生活で、知らない間に「顔認証システム」で、群衆の中の自分の顔が常時撮影され、解像度の高い映像で瞬時に個人識別して、事前登録された人物か、手配中の犯人か否か等、何時もチェックされ続けているのです。

4. 問題点と対策

私達は、進化し続ける技術の恩恵を受け、見えることが絶対だと信じていますが、便利さの裏に潜むリスクや犯罪の怖さを認識し、現状の問題点を把握して、機器のシステムや性能を知ることが必要です。使用目的を明確に、許容範囲を検討し、一定の線引きや必要な法規制を行い、設置場所には「顔認証で情報取得中」と明示するなど、個人情報保護法を遵守し、国民の生活を脅かすことなく安心して使用出来るものにしなければなりません。

どうはぐくむ「ヘルメット・反射材」と交通安全運動



金子 理恵子

秩父タクシー協会 会長
秩父市セーフコミュニティ交通安全対策委員会 委員長

1. 交通安全対策委員会について

秩父市セーフコミュニティ交通安全対策委員会は、「年間 300 件前後の人身交通事故が発生している」「外傷における救急搬送のうち 4 割近くが交通事故」「交通死亡事故が発生している」「交通事故に不安を感じている市民が多い」ことから、秩父市のセーフコミュニティにおける重点対策と位置づけ、設置されました。タクシー協会、交通安全母の会、町会長協議会、交通安全協会、交通指導員、県土整備事務所、警察、市関係課から 12 名の委員で構成されています。平成 25 年 8 月の立ち上げから、これまでに 20 回以上開催しています。

2. ヘルメット・反射材について

交通安全対策においては、自転車乗車時のヘルメット、夜間歩行時の反射材着用促進は重要な要素です。対策委員会においても、着用を促進するため、高齢者、子ども向け交通安全教室の内容改善を行い、ヘルメットと反射材の着用を重点的に呼びかけています、特に、市内において、高齢者の夜間歩行中の交通死亡事故の発生があったことから、交通安全母の会や民生委員と連携し、高齢者世帯を直接訪問し、反射材着用を呼びかけました。また、ヘルメット着用促進については、今年度から、ヘルメット購入補助制度が創設され、普及を呼びかけているところです。

3. 交通安全運動について

交通安全運動については、セーフコミュニティに取り組む前から、実施されてきました。例えば、警察での信号機設置などの交通規制、県や市では道路管理者としての道路環境整備、さらには、各種団体が協力し、交通安全運動や安全教育などを実施していました。対策委員会ではこれに、科学的根拠をプラスし、既存の交通安全運動の改善を行っています。交通事故データ、プロドライバーへのアンケートの分析から、市内における交通事故発生傾向把握や、新たなリスクの発見などにつながっています。

4. 今後どう「はぐくむ」？

セーフコミュニティ活動の中で、ヘルメット・反射材の普及促進、交通安全運動の改善などを継続して行ってきましたが、最新のアンケートによると、セーフコミュニティ取組前と比べて、交通安全運動が盛んになったと感じている市民は 15%程度と少なく、また、今年度創設されたヘルメット補助金については、申請件数の伸びがいまひとつといった状況です。さらに、高齢者の歩行中の交通死亡事故についても、平成 27 年度は発生がなかったものの、平成 28 年度に 1 件発生してしまいました。対策委員会としては、自転車乗車中のヘルメット着用、夜間歩行時の反射材着用など、交通安全への市民意識を「はぐくむ」ため、今後重点的に呼びかけるとともに、啓発のアプローチ方法についてさらに検討を進めていきたいと考えています。

どうはぐくむ犯罪防止運動（最近の犯罪情勢と対策）

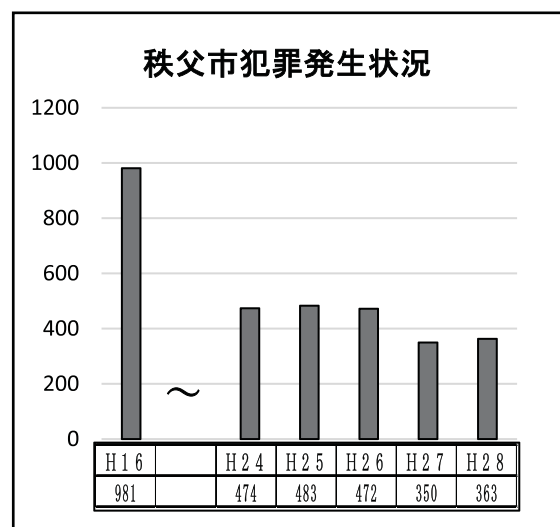


安部 一夫

埼玉県秩父警察署 生活安全課長

1. 最近の犯罪情勢

埼玉県内の刑法犯認知件数は、過去最悪であった平成16年の約18万件を境に以降減少傾向が続き、平成28年は7万件を下回る状況であり、秩父市においても、刑法犯認知件数が平成16年は981件(当時の荒川村・大滝村含む)であったが、平成28年は363件まで減少しています。また、人口1,000人当たりでの犯罪率では、平成28年は埼玉県平均で9.6件に対し、秩父市は5.8件であり、数字的には秩父市は比較的安定した治安情勢と言えます。しかし、犯罪認知件数は減少傾向にあるものの、オレオレ詐欺や架空請求詐欺などの特殊詐欺被害の発生が依然として後を絶たず、また、侵入窃盗や車上ねらい、自転車盗など身近なところで発生していることから、犯罪への警戒心を緩めることなく、今後も継続的な犯罪防止対策が求められます。



2. 犯罪防止対策

(1) 身近なところでの対策

侵入窃盗や車上ねらい、自転車盗などは被害の半数以上が鍵をかけていない無施錠での被害であり、短時間でも「必ず鍵をかける」ことの習慣付けや、車内に物を置いたままにしないなど身近なところで、一人ひとりの防犯意識向上が重要です。現在、犯罪の防止対策委員会においても「鍵かけ運動」を推進中です。

(2) 情報発信と情報共有

犯罪防止のためには、「地域でどのような犯罪が発生しているのか」「犯罪防止のためにどのような対策が必要か」等の具体的情報の発信と、その情報を受けた側が情報を共有し対策を講じることが必要です。都市部と比較し地域の連携が強い秩父地域の特性を生かし、更なる安心・安全な地域づくりを推進していきます。

どうはぐくむ防犯パトロール・鍵かけ運動



富田 陽子

秩父地区更生保護女性会 会長
秩父市セーフコミュニティ犯罪の防止対策委員会 副委員長

1. 犯罪の防止対策委員会について

秩父市セーフコミュニティ犯罪の防止対策委員会は、「刑法犯認知件数は少ないものの、減少傾向にない」「地域住民が協力して防犯活動に取り組むべきと考えている市民が多い」「防犯対策について多くの市民が重要と考えている」ことから、秩父市のセーフコミュニティにおける重点対策と位置づけ、設置されました。町会長協議会、青少年育成協議会、民生委員、保護司会、更生保護女性会、商工会議所、商店連盟連合会、校長会、防犯協会、県地域振興センター、警察、市関係課から 15 名の委員で構成されています。平成 25 年 8 月の立ち上げから、これまでに 20 回以上開催しています。

2. 防犯パトロールについて

市内では、防犯推進員、町会など多くの関係団体が、定期的に防犯パトロールを実施しています。しかしながら、パトロールを行っていることが、市民に伝わっておらず、犯罪に対する不安の解消につながっていませんでした。また、市民アンケートでは多くの方が、地域で防犯活動をすることが重要と考えている一方で、実際にパトロールに参加する方は固定化しているという課題もあります。そこで対策委員会では、防犯パトロールの周知を図るため、パトロールカードの配布を開始しました。パトロールを行った地域のお宅にカードを配布することで、犯罪に対する不安の解消と、活動の周知を図ることができると考えています。

3. 鍵かけ運動について

対策委員会での分析によれば、市内で侵入窃盗の被害にあった方のうち、半数以上が無施錠で被害にあったということがわかりました。また、市民アンケートの結果でも、外出時には 9 割以上の方が施錠していると答えた一方で、在宅時には 5 割以上の方が施錠していないという結果も出ています。このことから、外出時はもちろん、在宅時にも施錠を徹底するよう「鍵かけ運動」を開始しました。運動では「鍵かけ運動」シールを作成し、特に侵入窃盗被害の多い地区に配布、玄関のドアに貼付してもらうことで、日ごろから施錠への意識啓発ができると考えています。

4. 今後どう「はぐくむ」？

これまでセーフコミュニティ通して、防犯パトロールの周知や、「鍵かけ運動」の推進を継続してきましたが、最新の市民アンケートによると、市民の意識に顕著な変化はない状況です。そこで、対策委員会では市民の防犯意識を「はぐくむ」ために、隣組制度に着目しています。町会よりもさらに地域に密着した隣組は、防犯意識の醸成、防犯活動の周知、地域の目の強化に役立つと考えています。これまでは、町会単位での防犯活動を中心に捉えてきましたが、今後は新たなアプローチを検討し、地域で「はぐくむ」防犯を実現していきたいと考えています。

どうはぐくむ地域の絆、安全安心のこころ



～厚木市における不審者から子どもを守る取り組み～

倉持 隆雄

厚木市セーフコミュニティ総合指導員

1. はじめに

子どもの危険・不安情報を収集して分析することにより、子どもをめぐる潜在的犯罪遭遇リスクの分布が把握でき、被害の未然防止対策に参考として、有効活用できる。厚木市では、平成16年から平成28年までの13年間に市内で確認された1,015件の不審動向情報(不審者等情報)を分析し「愛の目運動」などの地域安全活動に有効活用している。

2. 危険・不安に遭遇した子どもの対応が重要

多くの子どもの犯罪被害は、一人の時に多く発生している。

子どもの被害の未然防止のためには、子ども自身が不審者等に遭遇した場合に、その状況をすぐに親や先生などに知らせることを生活習慣化することが重要である。

次に、子どもからの情報を、親や先生等が必要に応じ、いち早く警察や市に連絡できる体制を作る必要がある。

3. 不審動向情報の収集・分析・伝達等の具体的手法

市に提供された不審動向情報は、警察、学校、自治会、ボランティア団体等からのものが多く、その背景としては、地域住民の防犯意識の高揚が挙げられる。集積した情報は、市の担当課において、時間別、動向情報別、年齢別、乗物等別、被害者等別、曜日・月別、天候別、地域別などに分析する。

また、警察からの情報を罪種別、地区別、月別などに整理し、地域の現場で、コミュニティのリーダーが活用しやすいようグラフで図解にするなど、見やすく理解できるよう加工編集し、地区市民センター(公民館)等に配布している。

情報が発信されるようになり、自分の地域や身の回りで発生している犯罪の多さを初めて知り、地域住民の犯罪に対する意識が大きく変化し始めたのである。また、市に提供された情報をできるだけ早く地域住民に知らせることが、コミュニティや地域安全活動の活性化に大きな役割を果たしていることが確認できた。

4. 愛の目運動

愛の目運動とは、例えば、子どもが学校に登校する時、親は門の外まで出て「行ってらっしゃい!」と、自分の子どもを見送り、近所の子供たちにも「気をつけて、行ってらっしゃい!」と、声をかけ見送る。

また、子どもたちの下校時間にあわせ「家の周りの掃除」、「買い物」や「犬の散歩」。高齢者の方は、天気の良い日に子どもたちの下校時間にあわせ、自宅の庭などで「日向ぼっこをする」など、簡単に出来ることをみんなで実施する「子ども見守り運動」である。

地域、防災、災害支援に対して、メーカーが発揮する



「つながる、はぐぐむ、とどける」 ちから

櫛間 香奈

ハッソー株式会社 マーケティング部マネージャー

私たち、ハッソー株式会社は品川区に本社を置く、衛生・清掃用品の OEM（他社ブランド製品の製造）をメイン事業とした企業です。プライベート商品のパッケージに私たちの名前は、一切出ることが無く、今までは「黒子」のような存在として、消費者の皆さまのお手元に製品を「おとどけ」して参りました。

そんな私たちの状況は、2016 年 11 月に大人用紙オムツ「HASOCARE®（ハッソーケア）」を発売して以降、劇的に変わりました。

まず、お客さまとの「つながり」がより強固に、密接なものへと変化しました。発売にあたって設置したお客様相談室には、「こんな商品を待っていた！」という感謝の声や「もっとこうなったら使いやすい」という叱咤激励の声が毎日届き、「私たちが生み出したこの商品をお客さまとともに はぐぐんでいるのだ」と、実感しています。また、いただいたお客様の声にこたえ、この 10 月より商品ラインナップを拡充、商品の一部をリニューアルいたしました。尿漏れの症状から外出を控えていた方が、HASOCARE®を手にすることで、もう一度外に出ることの楽しさを取り戻し、数十年来のお友達やご近所の方々、地域と「つながっていく」—この商品をより多くの方に「とどける」べく、私たちはいま、日本中・世界中を飛び回っています。

さらに、私たちは、日本の製造拠点を置いている石川県の大学と共同開発を行う「産学連携」や被災された方への「物資支援」および「防災協定の締結」などにも、力を入れています。直近では、7 月の九州北部の豪雨で深刻な被害を受けた大分・福岡県の方々にパンツ 5,000 枚を寄付いたしました。

こうした『地域との連携—つながること』、『そして、その関係をはぐぐむこと』、『その関係の中で、私たちの社是である「すべての人に快適を」—この思いを届けること』が、私たちの使命であると感じています。

今回は、そんな私たちの活動内容の一部、併せて商品についてもご紹介させていただけたらと思います。

「どうはぐくむ高齢者の健康と安全・安心

～作業療法士としての創意工夫～



松岡 公平

らいおんハート整形外科リハビリクリニック統括部長
作業療法士

1. はじめに

作業療法とは、「身体または精神に障害のある者、またはそれが予測されるものに対してその主体的な活動の獲得をはかるため、諸機能の回復・維持および開発を促す作業活動を用いて、治療、指導および援助を行うことをいう」と定義されている。高齢者が日常の中でいきいきと生活をはぐくんでいくために作業療法士としてどのようなことを支援できるのかを検討したので以下に報告する。

2. 作業とは何か

食べたり、入浴したり、家事や掃除をしたり、仕事をしたり、趣味の活動を行ったり人の日常生活に関わるすべての諸活動を「作業」と呼んでいる。その作業を目的としてや手段として用いることで人と社会をつなぐ接点となっている。

3. 現在の当グループの取り組み事項と課題

一人一人に合った治療、安全かつ効果的な治療、治りにくい症状を改善させる多面的なアプローチ、患者様のニーズに応える医療の4つの基本方針にてあきらめない治療をめざしている。リハビリ内容としてはMPF療法による痛みの軽減に向けての治療、ロボットを利用したの最新リハビリ（HAL、Reogo-J）、脳卒中の麻痺に対してのボツリヌス療法、川平法などを実施している。技術へのこだわりを大切にして患者様や利用者様に喜ばれているが、課題点としては初期への患者様の取り組みとしてはよいが、経過がたつにつれて受け身型になりやすかった。

4. グループ内で取り組んだ創意工夫

デイサービスにて3つのコンセプトの手を出しすぎないこと。制限しない。一人一人の特徴を捉えることを大切に取り組んだ。今までは、がっちり介護、手厚いサービスをモットーに一对一の関わりに趣きをおいていた。目標は患者様からありがとうと言われる数より、スタッフが患者様や利用者様にありがとうという数を多く言ってあげることに変更した。利用者様の一人一人のやることを明確に役割を与えることでいきいきとした表情が生まれた。最近は食事が終わった後のお皿洗いや片付けなども一緒に行うようになったり、長く利用している利用者様が新しく入った利用者様へ教えている姿もみうけられるようになり、自立支援型へ向かいつつある。高齢者の健康や安心、安全を自らの意志や尊重を踏まえて築いていけるように今後も取り組んでいきたい。